

痒いトコロに手が届かない

～キャンプ業界のヒ・ミ・ツ～

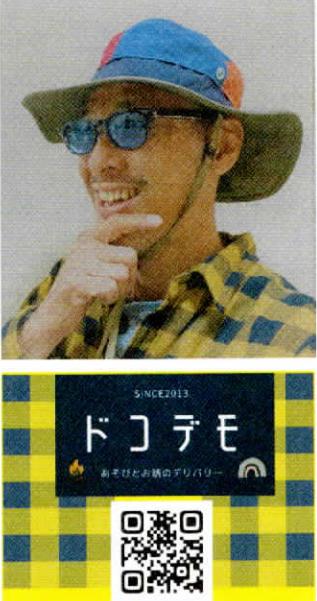
これまで…『キャンプボランティア！夜の野外活動』『野外活動施設／食堂美味しくないランギング』『NPOの闇／男女問題編』など、胸に溜めていたモノを暴露してきた「痒いトコロに手が届かない」も、この第7回をもって連載終了となります。中でもNPOの闇『あの人気が辞めた！ホントの理由編』は、大変反響が大きかつたですね（笑）

念のため言っておきますが、文春砲のような確たる証拠はありません。当然、盗聴や証拠写真もありません。疑わしい情報にも関わらず、大きな反響を見ると、人の弱みに対する食いつきは、いつの時代も変わりません。

まあとにかくこの連載を執筆してわかったことは『人生、うまくいかない事が多い』ということです。と言うのも、私もうまくいかない時期を過ごしていました。『いました』というより『います』が正しに表現かもしれません。まあ人の話ばかり土俵に乗せていて、ここからで私もカミングアウトです。

実は昨年度…50歳にして初めて、心療内科に行きました。担当医は男性で、年の頃は私よりも上ぐらい。びっくりするぐらい元気よく「こんにちは！榎本さん」と挨拶。喋り口調は長嶋茂雄さん系です。初診で出た診断名は『適応障害』。医者から言われた時は…『マジかよ』これが最初に浮かんだ言葉です。

保育園の園長に誘われた時は、生き方や仕事に対する取組み方が認められたような気持ちになりました。『頑張っている姿は、誰かが見てくれているはず』なんて言いますよね。本当にそんな想いになりますが、やはり薄曇り感はとれません。つまり『うまくなり、意気揚々と勤務をスタートしました。キャリアを生かして、やってみたいこともありました。地域の子育て支援、年長児ロングキャンプ、卒園児対象プログラム、職員のあそび研修など。



コロナ禍で講師の仕事が激減、伯父の突然の死によるゴミ屋敷の処理、保育園でのポジション、阪神タイガースの弱さ…でも確たる原因是、わからない。医者曰く、上記のこと（阪神タイガースを除いて（笑）が短期間に起こり、環境の変化に適応ができなかつたのが原因でしょう。意味は理解できるのですが、やはり薄曇り感はとれません。つまり『うまいかない時期』を現在進行形で過ごしています。

キャンプや親子あそびなど講師をしている姿をご存知の方からすると、『あんなに元気で明るく人前でお喋りしていた人が』と思うかもしれません。『こんなことになってしまふのです。

退職について、お世話をなった方々へ個々に連絡をさせていただきましたが…

そんな中…講師仲間の絵本パフォーマーてんたいさんが、「なんじやそりや（笑）」と笑い飛ばしてくれました。なんだか晴れ間が見えた感覚でした。たった一言でしたが、スウーっと日差しが見えたのです。私も、同じような症状の方がいたら「大丈夫」「ボチボチと」「無理しないで」って声をかけるのでしょう。でも励ましの言葉では、日差しが見えないのでかもしれません。「なんじやそりや」は『励まし』ではなく、私にとっては『寄り添い』の言葉でした。

2022年度より講師業に復帰しますが、「寄り添い」を大切にした活動にしていきたいと思います。

『痒いトコロに手が届かない』最終回でした。チャンチャン

人間どうしても着地点が欲しいものです。自分なりに原因を考えました。腎不全の発症、